

特別賞

生態系のピラミッド

御田小学校 横田 海音

今、地球では、森林が減っています。そして生き物の食物連さは、生き物のすみかがこわされていつていっているので、くずれそうになっています。森林がもつと減っていったら動物たちが全めつしてしまいます。そこで私は、生態系のピラミッドについて調べることにしました。

まず食物連さとは、食べる者と食べられる者の関係で結びついた、生物間のつながりのことです。植物を食べるこん虫、そのこん虫を食べる小鳥、こん虫は小鳥に食べられこん虫が大発生することはありません。小鳥も生きられます。食物連さのピラミッドは、生産者の植物が草食動物にすこし食べられます。そして草食動物（虫）が消費者の小鳥に食べられ、ふんが土の中に入り、分かい者のび生物が分かいしてまた養分を生産者の植物の力になります。植物連さについて私の考えは、植物連さがないと、森はなりたたないのかなと考えました。たとえばシジュウカラ一羽が一年間に食べるイモムシは、およそ十萬頭といわれています。だからイモムシがいなくなったらシジュウカラは生きていけないのです。大きい動物もそうですが、小さい動物

や虫なども大切にしないと、けつきよくは大きい動物も死んでいくという事が分かりました。小さい動物のすみかの森や林を大切にしていきたいと思います。森をこわさないように心がけたいです。そのため、木を植えたり、森林をこわしてつくる建物をつくりたいです。森林を大切にしたいです。森林を大切にしたいです。そのような活動に、せつきよく的に参加したいです。

私は、これから、わりばしなどをもらわないようにしたり、ごみをできるだけ出さない、もしくは小さくするなどして森をこわさないようにしたいです。これから私が、心がけたい事は三つあります。まず一つ目は、大きい動物がいなくても大切にすることです。理由は、小さい動物も大切にしないきや、大きい動物が生きられないからです。二つ目は、植物を大切にすることです。理由は、物を大切にすることです。理由は、小さいこん虫を生きさせるためです。三つ目は、森林を守ることです。理由は、森林を守らなきや小さい動物も大きい動物も生きられないからです。私は、このかん境作文を通して、今まで思っていた以上に、森林を大切にしないきやという事が分かりました。